



健やかな成長を願い、「ブルーベリー」を植えました。 = 入学記念植樹 =

- 5月27日（水）、1年生は、昨年引き続き甲府市から贈られた「ブルーベリー」の苗木の入学記念植樹を行いました。1年生10名が、渡邊先生、佐藤先生、森岡先生、出月先生と一緒に楽しく植樹ができました。
- 学校農園の南側に植樹しましたが、隣には2年生の「ブルーベリー」さらにその横には、3・4年生の「イロハモミジ」が並んでいます。秋には実がなって、みんなでおいしく食べられるとよいですね。



自分の命は 自分で守る力を！

- 5月29日（金）に、東海地域に大規模な地震が発生することを想定した避難訓練が行われました。目的は、

(1) 防災に対する理解と意識の高揚を図る。

(2) 実際に地震が発生した場合、正しい判断力と行動力を身につける。 の2点です。

当日の様子など、感想を含めて、講評で私が話をさせていただいたことを、以下にのせます。

『「お、か、し、も」守れましたか？ 「おさない」「かけない（室内で）」「しゃべらない」「もどらない」です。教頭先生が2回目の放送をしてから、私のところに「全員無事避難しました」という報告があるまで、約4分でした。すばやく避難し、しっかりした態度でおこなうことができました。とてもよかったと思います。

甲府市も震度5弱ととても揺れた「東日本大震災」は、2011年（平成23年）3月11日のことです。今の4年生が、平成22年生の人が多い学年ですので、3年生以下の低学年の皆さんは生まれていません。4年生から6年生は、みんな3歳になっていませんが・・・それでも何となく覚えている人はいますか？

「釜石の奇跡」ということは、聞いたことがないかもしれませんが、宮城県の釜石市の市内の小中学生の99.8%、つまりほとんどの子どもたちが、津波にのみこまれずに助かったという話です。なぜ、助かったと思いますか？ それはふだんから災害（津波）がおきたらどうするか、という訓練（練習）をしっかりと行い、地震がおきた時にそれが生かされたからです。しかも、大人に言われてではなく、小中学生も自分の命は自分で守るという気持ちで行動し、さらに途中で困っている小学生の手を中学生がつないで逃げ、小学生も特に高学年の児童は、低学年そして幼稚園・保育園の園児の手をつないで、高い所に逃げて助かりました。

災害がおきた時に、お父さんお母さん、学校の先生などの大人が必ず近くにいるとはかぎりません。小学生といっても、自分で考え行動しなければなりません。ぜひ、みなさんも今日の訓練のようにしっかり行い、ふだんの生活においても自分の命・からだは自分で守るという気持ちで、行動してもらいたいと思います。』

